

# 憲法が輝くあたらしい兵庫県政へ 津川知久さんに期待します

2017年6月

いま、「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の代表幹事の津川知久さんが、憲法が輝き、人と地域を守る新しい兵庫県政の実現のために奮闘されています。

津川さんは、長年、兵庫県労働組合総連合議長（高等学校教職員組合委員長）、原水爆禁止兵庫県協議会筆頭代表理事、兵庫県憲法会議代表幹事、原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会共同代表など、兵庫県の労働運動、市民運動、平和運動の中心的な役割を果たしてこられました。

これまでの兵庫県政は、憲法を投げ捨てようとする自公政権の動きになんら抵抗しないどころか、時にはこれを後押しして、県民の生活と安全を危うくしています。

アメリカの軍艦の姫路港（兵庫県が管理者）への寄港を三度も容認しました。

寄港申請に対して、非核証明（核兵器を積んでいないとの証明）を求めると言いながら、「**現行の枠組み、米政府の基本的な考え方というものを前提に判断**したい」「非核証明を出しなさいと言うと、個別の軍艦の状況について言及しなさいということになり、出せということは入ってくるなということになる。**すくなくとも日米安保条約上の相互関係からすると特定の理由なしに拒否をする理由がない**」（記者会見）との態度で容認してしまいました。

つまり、日米政府から、戦争する国づくりのための協力要請があっても無条件で引き受けるという態度です。

さらに、非核・平和宣言すら行わず、オスプレイを兵庫県の防災訓練へ参加させようとまでしたのです。

住民の安全、平和を守るよりも、「日米同盟」の軍事的強化の動きを優先する態度と言わざるを得ません。

沖縄県知事が、新基地建設の国の圧力に屈せず裁判を起こしてでも県土の平和、県民の安全のためにたたかい、新潟県知事が、国策として推進される原発再稼働にきっぱりと反対して県民を守ろうとしている態度と比べようありません。

軍隊と警察の力を強め、国家権力による統制を強めようとする安倍政権の暴走から私たちの権利と暮らしを守るために、兵庫県政を“憲法が輝く”方向に大きく転換させましょう。

兵庫県に働き、生活し、兵庫県に関わる大学人として、津川ともひささんといっしょに、“憲法が輝く兵庫県政”をつくることを呼びかけます。

【第一次発表】（\*は呼びかけ人）（50音順）

\* 石川康宏（神戸女学院大学教授）

弥永学（元山口大学助教授、数学者）

\* 内田樹（神戸女学院大学名誉教授）

\* 大塚秀之（神戸市外国語大学名誉教授）

笥久美子（神戸大学名誉教授）

\* 金持徹（神戸大学名誉教授）

金持伸子（日本福祉大学名誉教授）

\* 上脇博之（神戸学院大学法学部教授）

\* 菊本義治（兵庫県立大学名誉教授）

柴田悦子（大阪市立大学名誉教授）

\* 富田宏治（関西学院大学法学部教授、原水爆禁止世界大会起草委員長）

長淵満男（甲南大学名誉教授）

中村陽一（元神戸大学非常勤講師）

中山章（神戸大学名誉教授）

西川栄一（神戸商船大学名誉教授）

\* 平野喜一郎（三重大学名誉教授）

廣森勝久（神戸大学名誉教授）

風呂本惇子（元神戸女学院大学教授、アメリカ文学研究者）

\* 風呂本武敏（非核の政府を求める兵庫の会代表世話人、元神戸大学教授）

前野育三（関西学院大学名誉教授）

松岡正章（甲南大学名誉教授、弁護士）

松崎喜良（神戸女子大学教授）

森井俊行（神戸大学名誉教授）

\* 和田 進（神戸大学名誉教授）

（連絡先）【憲法が輝く兵庫県政をつくる会（兵庫・憲法県政の会）】

神戸市兵庫区西橋通1丁目1-20 辰巳ビル

電話(078)512-1571/FAX(078)512-1575/E-mail : [info@kenpo-kensei.com](mailto:info@kenpo-kensei.com)